

**生産性と加工能力を向上する、オンマシンスキャニングソリューション**

世界的なエンジニアリング技術会社のレニショーは、EMO Hannover 2019 にて工作機械用最新スキャニングソリューションを展示します。オンマシンスキャニングは、さまざまな業界における機械工場の生産能力向上への貢献がすでに実証されている、当社が展示する各種スマートファクトリープロセスコントロールソリューションのひとつです。

メーカーがさまざまな分野で成長し続けるには、サイクルタイムの短縮、生産性の拡大、スクラップの削減を進めていく必要があります。このような課題に対しては、タッチトリガーによるオンマシンプローブ計測が広く浸透しています。その一方で、サイクルタイムの短縮とデータ密度の最大化が求められる場合には、その用途が制限されることがしばしばあります。

当社の SPRINT™ 実装 OSP60 プローブをはじめとするオンマシンスキャニングであれば、そのような制約にとらわれないため、以前では実用的でなかった場面でもプローブ計測が価値のあるものとなります。OSP60 プローブに採用されている特許取得の 3D センサー技術では、1D でしかデータ出力しない他のオンマシンスキャニングシステムと異なり、真の 3D（X、Y および Z 位置）データを 1 秒間に 1000 点出力できます。これまでにない送り速度で、真のフォーム分析や不具合検出が可能です。

OSP60 プローブをレニショー製高機能ソフトウェアツール群と連携させることで、「リアルサーファスモデリング」が可能です。「リアルサーファスモデリング」は、多種多様な場面や下流工程に生産工程を大幅に向上する目的で活用できます。3D スキャニングシステムで取得した高密度データは、加工前のオンマシンヘルスチェック、パーツセットアップ、パーツ形状計測、平坦なシーリング面の表面状態モニタリング、ブレードのような複雑パーツの製造時の 3D 表面計測、形状が変化しやすいケーシングなどのパーツのアダプティブマシニング、などの場面でメリットがあります。

さまざまな産業分野の各工作機械メーカーやエンドユーザーが、オンマシンスキャニングを続々と採用し、オンマシンスキャニングにより強化された能力のメリットを実感しています。そして、製造工程の強化を図り、経営上のメリットを手にしています。

オンマシンスキャニングのメリットの詳細については、EMO Hannover 2019（9 月 16 日～21 日）のレニショースタンド（第 6 ホール、D48 スタンド）までお越しください。

以上